

# BUSINESS REPORT

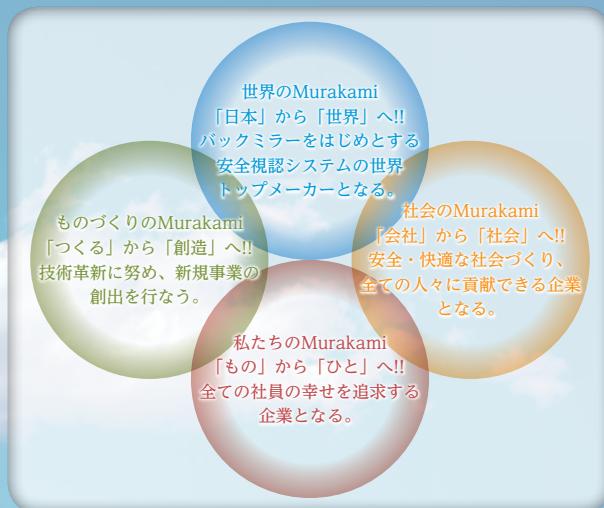
第78期報告書 2020年4月1日>>>2021年3月31日

株式会社村上開明堂

証券コード：7292

# 私たちは、社業を通じて 「人の役に立つ」村上開明堂を 目指します。

「もの」に込める“技術”と“思い”、  
企業活動を通じて「絆」を結び、  
社会に「幸せ」を提供し、輝く未来をつくります。



## ミラーシステム事業

自動車用バックミラーは、コンパクトなボディに薄膜・機構・電気系といった多様な技術で構成されています。この複合システムを一貫体制で自社開発・設計・生産している専門メーカーは世界でも稀で、当社はその先駆けといえます。ミラーに特化した専門技術と、次世代ミラーを実現する開発力で、国内の主要自動車メーカー各社から信頼をいただいています。近年では海外展開に注力しており、国内シェアNo.1から世界トップメーカーへの飛躍を目指しています。

## オプトロニクス事業

高精度の光学薄膜技術をはじめ、ミラーシステム事業で培った多様な技術力を活かして、より幅広い分野にアプローチするオプトロニクス事業。OA機器に組み込まれる高反射ミラーや、映像機器に用いるダイクロイックミラー、自動車のヘッドアップディスプレイに組み込まれる曲面ガラスミラーなど、多様な機能を持つミラー・フィルター類を中心とした光学機器用部品の製造を行なっています。ミラーシステムと同様、開発から生産までの一貫体制を強みとして、お客様の要望に合わせた柔軟な提案力で対応します。

## その他事業

樹脂原料販売、物流・運送、人材派遣など、お客様のニーズに応じて多様な事業を関連会社で展開。これからも各事業のネットワーク網を拡充し、グローバルカンパニー・村上開明堂を支えていきます。

## トピックス

当社は「空中浮遊映像」を使用した非接触FPT (Floating Pictogram Technology) システムの基礎開発を完了しました。

このシステムはエレベーターや銀行ATMなどで、不特定多数が触れるボタンや操作パネルを空中に映像として浮かび上がらせ、実物に触れることなく操作ができるものです。ウィズ・コロナ時代における接触感染リスク解消策として期待されています。

2月よりメーカーや病院に装置サンプルの有償提供を開始し、使用感などを評価していただいております。今後は使用場面に応じた改良を加えて実用性を高め、2022年の量産化を目指してまいります。



使用例：エレベーターの操作

使用例：ATMの操作

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、当社第78期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ここに報告申し上げます。

## 当期の経営成績

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により、各国で感染拡大防止と経済活動の両立を模索する状況となりました。下期以降、景気は回復傾向にあるものの、依然として予断を許さない状況です。

日本国内においても、政府の各種支援策などにより、下期に個人消費の回復や製造業を中心とした輸出の持ち直しの動きも見られましたが、感染の再拡大により再び経済活動が一部制限されるなど、厳しい状況が続いております。

当社グループの主要取引先である自動車業界においても、世界経済の停滞により、日本、アジア、北米の全ての地域において自動車生産台数が前年を下回りました。一方、下期を中心に回復も進み、当社が生産拠点を展開する地域では、いち早く感染拡大を抑制した中国をはじめとして、北米、日本、タイの順に回復が見られたものの、インドネシアは年度を通じて回復には至りませんでした。また、2020年の年末より半導体の供給不足問題が発生いたしました。当社グループにおける当期の生産及び業績への影響は軽微にとどまりました。

このような状況下において当社グループは、2020年4月に「新型コロナ緊急対策プロジェクト」を立ち上げ、従業員の感染防止を目的として、フレックス制度の導入、在宅勤務やリモート会議の切り替えを迅速に行うとともに、サプライチェーンの確保、受注変動に合わせた生産調整を図りながら、例年の原価低減活動に加えて固定費を徹底圧縮し、雇用維持と収益確保に注力いたしました。また、ウィズ・コロナ、アフター・コロナの安心・安全・快適につながるソリューションとして空中浮遊非接触インターフェースを開発するなど、新分野、新製品の研究開発及びマーケティングにも取り組み、グループ丸となって持続的成長のための企業体質強化を図ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は74,147百万円となり、前連結会計年度に比べて3,521百万円（4.5%）の減少となりました。

また、経常利益は5,713百万円となり、前連結会計年度に比べて1,925百万円（25.2%）の減少、親会社株主に帰属する当期純利益は3,699百万円となり、前連結会計年度に比べて1,261百万円（25.4%）の減少となりました。

期末配当金につきましては、1株につき26円とさせていただきます。この結果、年間配当金は1株につき50円となります。

## 次期の見通し

新型コロナウイルス感染拡大ははまだ収束しておらず、日本国内においても緊急事態宣言が繰り返し発令される等、不確実な状況は継続しております。今後の経済の見通しにつきましては、前年度の大幅な落ち込みからの反動回復や各国の経済対策が期待されるものの、引き続き、経済活動には感染拡大防止との両立が求められ、正常化の時期はコロナワクチンの普及に左右されるものと見られます。

自動車業界では、年度後半からの順調な回復を受けて底堅い伸びが予想されるものの、半導体など部品調達の遅れや物流の停滞による生産への影響も懸念されます。当社では、引き続き慎重な事業運営を行いながらも、グローバルでのサプライチェーン最適化、生産技術革新等による収益力のさらなる向上に取り組み、主力であるバックミラー事業の基盤強化を図ってまいります。また、空中浮遊非接触インターフェース技術をはじめ、技術開発や市場開発のための投資を機動的に行い、新規事業創出に向けた取り組みを一層強化してまいります。

連結業績予想につきましては、堅調なバックミラー販売が見込まれるものの、研究開発費の増加などにより、売上高75,000百万円、営業利益は7,000百万円、経常利益は7,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5,000百万円を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年6月



代表取締役社長 村上太郎

# グローバルネットワーク

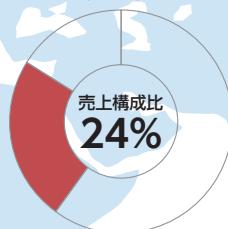
MURAKAMI MANUFACTURING  
INDIA PRIVATE LTD.



株式会社村上開明堂九州  
株式会社村上開明堂化成  
株式会社エイジー  
株式会社村上エクスプレス  
株式会社村上開明堂ビジネスサービス

Murakami Germany GmbH

アジア



MURAKAMI AMPAS  
(THAILAND) CO.,LTD.



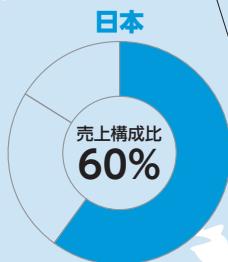
Murakami Manufacturing  
(Thailand) Co.,Ltd.



Murakami Mold  
Engineering (Thailand)  
Co.,Ltd.



Murakami  
Corporation  
(Thailand) Ltd.



本社  
(静岡市)



東京事務所  
(東京都千代田区)



藤枝工場 (藤枝市)



Murakami Manufacturing  
U.S.A.Inc.



大井川工場 (藤枝市)



築地工場 (藤枝市)



嘉興村上汽車配件有限公司



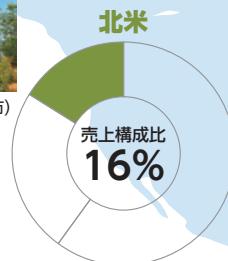
佛山村上汽車配件有限公司



天津村上汽車配件有限公司



PT.Murakami Delloyd Indonesia



Murakami Manufacturing  
Mexico, S.A. de C.V.

## 日本

主力の自動車用バックミラーの販売数量が減少した結果、売上高は前連結会計年度に比べて1,007百万円(2.2%)減少し、44,338百万円となりました。営業利益は、売上減少や減価償却費の負担増などにより、1,941百万円となり、前連結会計年度に比べて874百万円(31.1%)の減少となりました。

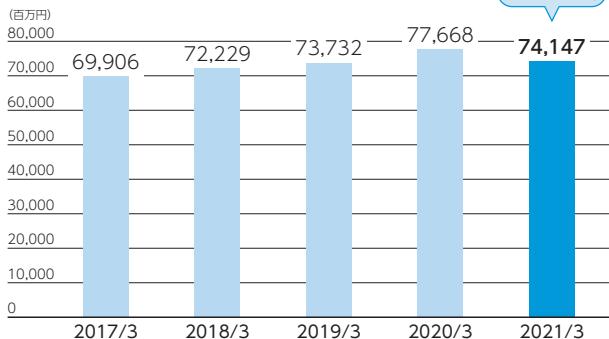
## アジア

タイ及びインドネシアにおいて自動車用バックミラー販売数量が減少した結果、売上高は前連結会計年度に比べて990百万円(5.2%)減少し、18,087百万円となりました。営業利益は2,058百万円となり、前連結会計年度に比べて791百万円(27.8%)の減少となりました。

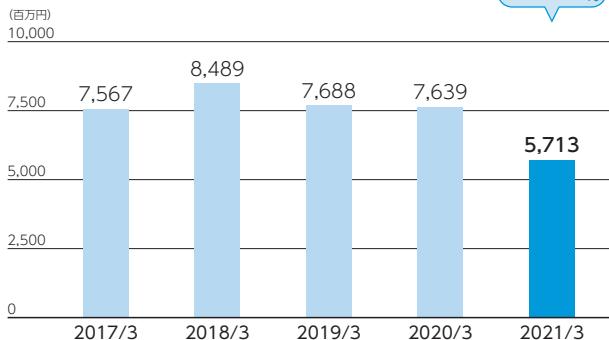
## 北米

主に米国における自動車用バックミラーの販売数量が減少した結果、売上高は前連結会計年度に比べて1,523百万円(11.5%)減少し、11,720百万円となりました。営業利益は847百万円となり、前連結会計年度に比べて296百万円(25.9%)の減少となりました。

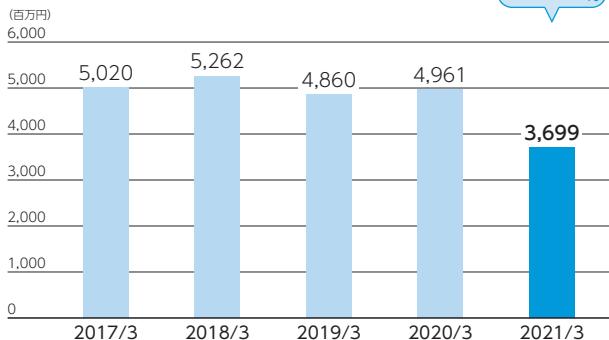
## 売上高



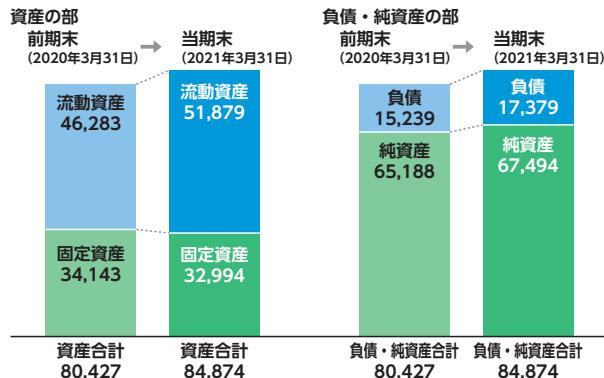
## 経常利益



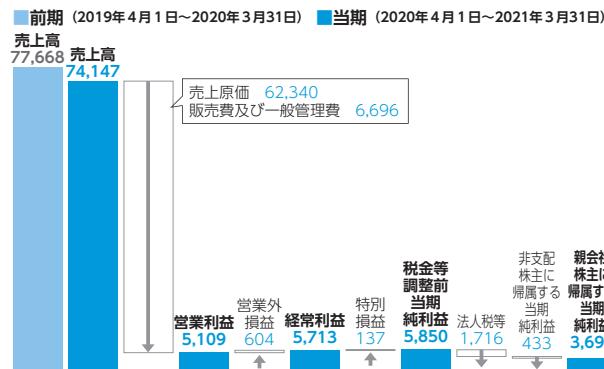
## 親会社株主に帰属する当期純利益



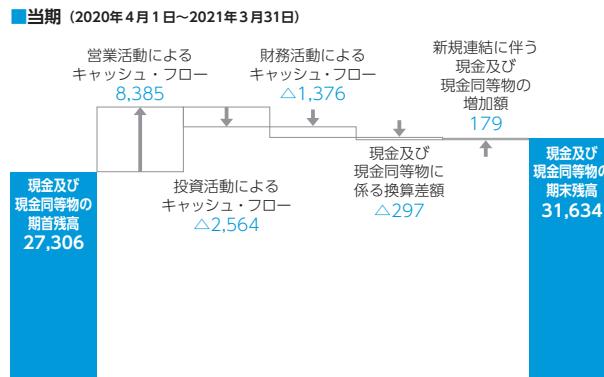
## 連結貸借対照表 (百万円)



## 連結損益計算書 (百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



## 会社概要

商号 株式会社村上開明堂  
 設立 1948年3月27日  
 資本金 3,165,445,000円  
 発行済株式総数 13,100,000株

事業内容 自動車用バックミラー、  
 ファインガラスの製造  
 及び販売  
 従業員数 連結：3,183名  
 単体：950名

## 役員 (2021年6月29日現在)

### 取締役

取締役社長 (代表取締役) 村上 太郎  
 専務取締役 望月 義人  
 専務取締役 奥野 雅  
 常務取締役 長谷川 猛  
 取締役 杉澤 達弥  
 取締役 平沢 方秀  
 ※取締役 岩崎 清悟  
 ※取締役 石晃 一  
 ※取締役 足羽 由美子

(注) ※印の取締役は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

### 監査役

監査役 (常勤) 増井 邦夫  
 ※監査役 櫻井 透  
 ※監査役 興津 哲雄

(注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

### 執行役員

常務執行役員 服部 有  
 常務執行役員 原田 利恵子  
 常務執行役員 糟谷 篤  
 常務執行役員 松田 裕昭

執行役員 吉永 晃  
 執行役員 星野 立  
 執行役員 増田 達  
 執行役員 田中 豊  
 執行役員 島村 昌  
 執行役員 片山 琢

## 主要な営業所及び工場

本社：静岡県静岡市  
 東京事務所：東京都千代田区

藤枝工場：静岡県藤枝市  
 大井川工場：静岡県藤枝市  
 築地工場：静岡県藤枝市

## 関係会社

### 国内

株式会社村上開明堂九州  
 株式会社村上開明堂化成  
 株式会社エイジー  
 株式会社村上エキスプレス  
 株式会社村上開明堂ビジネスサービス

### 海外

Murakami Manufacturing U.S.A.Inc.  
 Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.  
 嘉興村上汽車配件有限公司  
 佛山村上汽車配件有限公司  
 天津村上汽車配件有限公司  
 Murakami Corporation(Thailand)Ltd.  
 MURAKAMI AMPAS(THAILAND)CO.,LTD.  
 Murakami Manufacturing(Thailand)Co.,Ltd.  
 Murakami Mold Engineering (Thailand)Co.,Ltd.  
 PT.Murakami Delloyd Indonesia  
 MURAKAMI MANUFACTURING INDIA PRIVATE LTD.  
 Murakami Germany GmbH

## 株式情報

発行可能株式総数…………… 29,900,000株  
 発行済株式の総数…………… 13,100,000株  
 株主数…………… 1,316名

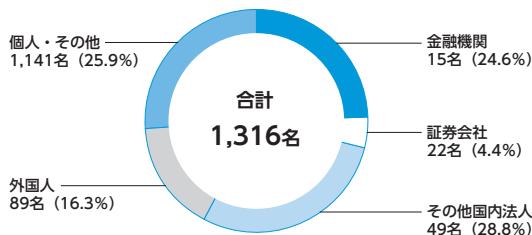
## 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社豊英社	1,860	14.7
村上太郎	1,425	11.2
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズド ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	809	6.4
AGC株式会社	739	5.8
株式会社三菱UFJ銀行	624	4.9
立花証券株式会社	523	4.1
株式会社中島屋ホテルズ	460	3.6
株式会社静岡銀行	459	3.6
東京中小企業投資育成株式会社	402	3.1
明治安田生命保険相互会社	347	2.7

(注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 出資比率は、自己株式473,158株を控除して計算しております。  
 3. 当社は自己株式473,158株を保有しておりますが、上記「大株主」から除いております。

## 株式分布状況

### <所有者別>



(注) ( ) 内の数値及びグラフは所有株式数の構成比率を表しています。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。  
<http://www.murakami-kaimeido.co.jp/usIr/koukoku>  
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先  
(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行なっております。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

